

武漢事務所週刊ニュース(2015年5月17日～24日)

武漢-静岡間の直行便が開通

5月17日 楚天都市報

南方航空会社が就航する 737-800 旅客機は 145 名の乗客を乗せ、武漢から静岡間に運航した。これは南方航空会社が昨年、武漢-モスクワ、武漢-サンフランシスコの直行便を開通してから、初めて開通した国際直行便である。また、今月 17 日南方航空も武漢-名古屋間の直行便を開通する予定。

武漢-静岡便は毎週火曜日、金曜日、土曜日の 3 便で、火曜日、金曜日は 7:45 に出発し、11:40 に到着する。土曜日は 12:10 に出発し、16:15 に到着する。(上記は現地時間)。

5月17日、南方航空会社は武漢-名古屋間の直行便を開通する予定。毎週月曜日、水曜日、木曜日、日曜日に就航する。うち月曜日、木曜日、日曜日は、7:55 に出発し、12:30 に到着、水曜日は、8:15 に出発し、12:30 に到着する。

統計データによると、2014 年度日本への旅行者数は 220 万人に達し、同期比 82%の増加率で以前の訪日記録を更新した。中国は日本旅行市場の 3 番目の来客国として、円安、ビザ申請政策の緩和及び日本の優れたサービスは中国の観光客を誘致する原因である。

武漢-張家界間の直行便が 17 日から開通

5 月 17 日 長江商報

張家界に訪れた 1000 万人の観光客のうち、3 分の 1 は湖北省からである。交通の利便性は観光客に注目されている。昨日、張家界市旅行代表団は、武漢市で旅行ツアー推薦会を開き、両地の旅行市場を開発するために意見を交わした。今日からは武漢-張家界間の直行便が開通された。

中国民用航空局に認可され、奥凱航空会社は 5 月 15 日から、武漢-張家界間の直行便を開通する見通しだ。一日一便就航し、7:40 に張家界を出発し、8:55 に武漢市に到着する。9:25 に武漢市を出発し、10:40 に張家界に到着する。